

冷凍用圧力容器の溶接基準（KHKS 0301）新旧対照表

傍線部が改正箇所

改正案	現行
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総則 （略）</li> <li>2. 溶接設計一般 （略）</li> <li>3. 溶接材料 （略）</li> <li>4. 溶接施工 （略）</li> <li>5. 応力除去 （略）</li> <li>6. 溶接部の試験 （略）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総則 （略）</li> <li>2. 溶接設計一般 （略）</li> <li>3. 溶接材料 （略）</li> <li>4. 溶接施工 （略）</li> <li>5. 応力除去 （略）</li> <li>6. 溶接部の試験 （略）</li> </ol>
<p>解説</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 制定、改訂等の経緯について（略）</li> <li>2. <u>前々回（旧版）の改訂について（略）</u></li> <li>3. <u>前回（2015年版）の改訂について（略）</u></li> <li>4. <u>今回の確認について</u>  <u>本基準の見直しの際に、本基準「3. 溶接材料」の「JIS Z 3202 銅及び銅合金ガス溶加棒」の適用範囲について「この規格は、ガス溶接（ろう付けを含む。）に使用する銅及び銅合金の裸溶加棒（以下、溶加棒という。）について規定する。」との記載があることから、本基準の溶接には「ろう付け」が含まれるのではないかとのご意見があった。</u>  <u>本基準は高圧ガス保安協会が自主的に認定している冷凍機器溶接士を対象にしたものであるが、本制度創設以来、今日に至るまで、被覆アーク溶接、ティグ溶接等の「ろう付け」を含まない、所謂「熔融溶接」の資格を有する者を対象としており、本基準の溶接には「ろう付け」は含まないこ</u> </li> </ol>	<p>解説</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 制定、改訂等の経緯について（略）</li> <li>2. <u>前回（旧版）の改訂について（略）</u></li> <li>3. <u>今回の改訂について（略）</u></li> </ol>

とを確認した。

5. 本基準の利用（略）

4. 本基準の利用（略）